

報道関係各位

2015年6月17日

2015年7月16日、美甘章子(みかもあきこ)がロンドン大学でおこなわれる、「核政策と歴史の記録の虚実についての国際会議」で講演を行います。

会議ではロンドン大学、アメリカン大学、ロンドン経済政治大学院、英王立国際問題研究所(シンクタンク)などの核政策、核廃止、歴史、国際政治などの世界的権威が一堂に会し、広島、長崎への原爆投下以降の世界の核政策の歴史を振り返り、討議を行うものです。このプログラムの基調講演を美甘章子がおこないます。

オリバー・ストーン「知られざるアメリカ史」の共著で知られる、歴史学者のピーター・カズニック教授(アメリカン大学Nuclear Studies Institute所長)も講演者の1人です。

【会議概要とスケジュール】(日本語訳はあくまでも参考までで、正式発表されたものではありません。原文は下記リンクからご覧ください)

ロンドン大学先端研究所・国連協会ウェストミンスター支部共催
『『嵐を蒔いてしまった*』— 核政策と歴史の記録』国際会議

(*注釈:「種の代わりに風を蒔いて実りを期待したら、その結果(神の怒りにふれて)嵐が起こって何も収穫できなかった」という聖書の格言を文字って、「風を蒔くどころか嵐を蒔いてしまった=核兵器を使ってしまった」)

2015年7月16日

於:ロンドン大学 Senate House

10:00 セッション1 「ヒロシマ以降。現実否定しながら生きる、恐怖の定義の書き換え」
議長:ロンドン大学 フィリップ・マーフィ教授

アメリカン大学 ピーター・カズニック教授

「トルーマン大統領が言ったように『史上最高の出来事』か、それとも最悪の向こう見ずか? ヒロシマ・ナガサキの原爆投下70周年における考察」

ロンドン経済政治大学院 マシュー・ジョーンズ教授

「冷たい戦争初期の米-アジア関係においてヒロシマが残したもの」

11:40 セッション2 「崖っぷちから何とか引き返して—これまでは」
議長:国連協会ウェストミンスター支部長 デイビッド・ウォードロップ

Verification Research, Training and Information Centre (VERTIC)

エグゼクティブ・ディレクター アンドレアス・パースボー

「危険の認知:核保有国が新しいルールに同意」(仮題)

Campaign for Nuclear Disarmament 副代表 ブルース・ケント
「国内外の反対意見」

13:00 基調講演

司会:(元国連総長の)Dag Hammarskjold 財団、ウップサラ、スウェーデン、
名誉ディレクター ヘニング・メルバー教授

US-Japan Psychological Services 代表, "Rising from the Ashes: A True Story of
Survival and Forgiveness from Hiroshima(邦題「8時15分 ヒロシマで生きぬいて許す
心」)著者 美甘章子博士

「Rising from the Ashes:あのきのこ雲の下で、そしてそれを越えて」

15:00 セッション3 「何が歴史として記録されている？真実についての論争」

議長: Voksenasen Networkers South,
オスロー、ノルウェー ディレクター
ジョン・Y・ジョーンズ博士

ロンドン大学コモンウェルス研究所先端研究学部 シニア研究員
スーザン・ウィリアムズ博士

「歴史の空白:コンゴ産のウラニウムとマンハッタンプロジェクト」

王立国際問題研究所(チャタム・ハウス), International Energy Advisory Council創始者、
サセックス大学科学政策研究所客員研究員 ウォルト・パッターソン博士

「誰の歴史か？核の万華鏡」

16:45 特別討論

議長:(未定)

王立国際問題研究所アフリカプログラム、研究員 ノックス・チティヨ博士
アメリカン大学 ピーター・カズニック教授

VERTIC エグゼクティブ・ディレクター アンドレアス・パースボー

17:50 公開討論

18:20 終了

※会議スケジュールへのリンク

<http://events.sas.ac.uk/icws/events/view/17624/%E2%80%98Sowing+the+Whirlwind%E2%80%99:+Nuclear+Politics+and+the+Historical+Record>

【美甘章子 略歴】

被爆した両親の次女として広島市で生まれる。広島大学教育学部卒業後、高校の英語科講師などを経て1989年に渡米。多様な現場で臨床心理と薬物中毒治療の経験を積み、1995年よりカリフォルニア州で臨床心理ドクターとして開業。US-Japan Psychological Services代表として数多くの患者やクライアントの心理療法、精神鑑定、組織コンサルテーション、エグゼクティブ・コーチング、スポーツメンタルコーチング等に従事する。

2010年より、非営利団体「サンディエゴ・ウィッシュ〜世界平和を願う会」の代表として例年広島と長崎の原爆祈念日(8月)に全米一の軍港都市であるサンディエゴにおいて「平和とヒューマニティーの日」を行い、次世代の平和のための教育と啓蒙活動を行う。

2013年英文でRising from the Ashes: A True Story of Survival and Forgiveness from Hiroshimaを著す。2014年前出の著書の日本語版「8時15分 ヒロシマで生きぬいて許す心」を出版し、広島本大賞にノミネートされる。

2014年11月、世界平和賞を英国で受賞。